

# 焼津 駅前通り デザイン ガイドライン

Yaizu  
Station Front Street  
Design  
Guidelines



# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
	(1) 主旨 .....	1
	(2) 焼津駅前通りデザインガイドラインとは .....	2
<b>2</b>	<b>策定経過 ～まちなかストリートデザインワークショップの軌跡～</b> .....	<b>3</b>
<b>3</b>	<b>駅前通りの将来像</b> .....	<b>4</b>
	(1) 駅前通りが目指す姿 .....	4
	(2) 駅前通りの将来像の体系 .....	5
	(3) 将来のまちづくりの5つの方針 .....	6
	(4) ストリートデザインの3つの方針 .....	7
<b>4</b>	<b>デザイン指針</b> .....	<b>8</b>
	(1) デザイン指針とは .....	8
	みんなで目指す 駅前通りの将来イメージ .....	10
	(2) デザイン指針の内容 .....	11
<b>5</b>	<b>将来像の実現に向けて</b> .....	<b>24</b>
	(1) 官民が連携したまちづくり活動 .....	24
付録	デザイン指針チェックリスト .....	28
参考	画像出典一覧 .....	29

# 1 はじめに

## (1) 主旨

焼津市では、JR 焼津駅から焼津漁港周辺地域を「居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまち」にするための取組を進めています。市民はもちろん、市外の人々にも「住み続けたい、住んでみたい、行ってみたい」と思われるまちづくりを目指しています。

この中心にある「駅前通り」は、焼津駅や焼津内港、市役所をつなぐ重要な場所に位置しており、古くから市民や働く人々の生活を支えてきた大切な場所です。焼津のまちなかの活性化のために、この通りの魅力をさらに高めていくことは、非常に重要です。

現在、焼津駅駅舎・駅前広場の再整備や周辺における再開発の検討が進んでいます。これらにあわせて駅前通りも、新しく生まれ変わるチャンスを迎えました。

このタイミングを契機とし、地権者や商店主、行政など、駅前通りに関わる全ての人々が一丸となり、魅力あふれる通りをつくるための指針として、「焼津駅前通りデザインガイドライン」（以下、「本ガイドライン」と記述）を策定しました。

### 《駅前通り周辺のまちづくりの考え方》

◇「焼津めぐる戦略（MEGURU）」では、JR 焼津駅から焼津漁港周辺地域において、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちづくりを進めるためのまちづくりや取組み内容を示しています。

◇駅前通り商店街エリアは、特に人の循環を創出していく「まちなかサーキュレーション」内に位置付けられ、焼津駅前エリア、内港エリアと連動して、多様な施策を進めています。

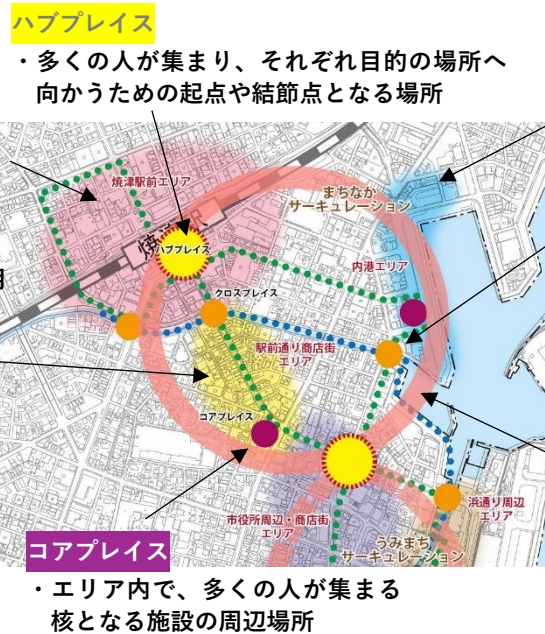
**焼津駅前エリア**

- ・焼津駅駅舎・駅前広場の再整備
- ・景観まちづくりの推進
- ・商店街の活性化
- ・再開発や共同化の促進
- ・官民連携による公有地の有効活用

**駅前通り商店街エリア**

- ・景観まちづくりの推進
- ・官民連携による活性化策の推進
- ・再開発や共同化の促進 等

※複数の地権者が隣接する老朽化した建物や土地を一体化し、新たなマンションや複合ビルとして建て替える手法のこと



**ハブプレイス**

- ・多くの人が集まり、それぞれ目的の場所へ向かうための起点や結節点となる場所

**内港エリア**

- ・にぎわい交流拠点づくり
- ・防潮堤の整備 等

**クロスプレイス**

- ・歩行者ネットワークと水辺のネットワークが交差する場所

※ネットワーク：歩行者が安全・円滑に通行できる経路のこと

**まちなかサーキュレーション**

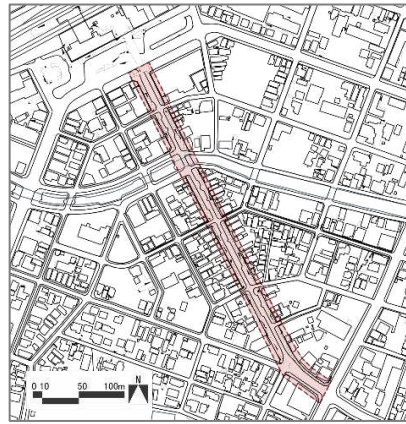
- ・歩行者・水辺のネットワークの形成、ハブプレイス等の形成・活用により周遊を促進し、サーキュレーション内のにぎわいを創出する

**コアプレイス**

- ・エリア内で、多くの人が集まる核となる施設の周辺場所

## (2) 焼津駅前通りデザインガイドラインとは

- 本ガイドラインは、20 年後（2045 年度）の駅前通りを魅力的な通りとしていくために、将来像を設定し、方策を整理するものです。
- 本ガイドラインは、駅前通り沿道の住民、事業者、各種団体、行政（市・県）など、**駅前通りに関わる全ての人々が共有する**ものです。
- これらの人々が連携・協力し、本ガイドラインで掲げる目指す姿（p.4）の実現に向け、まちづくりの方針（p.6）を共有し、**ハード（街並みづくりや道路空間づくり）・ソフト（コミュニティ・活動・体制・仕組みづくり等）の両輪**で進めていくものです。

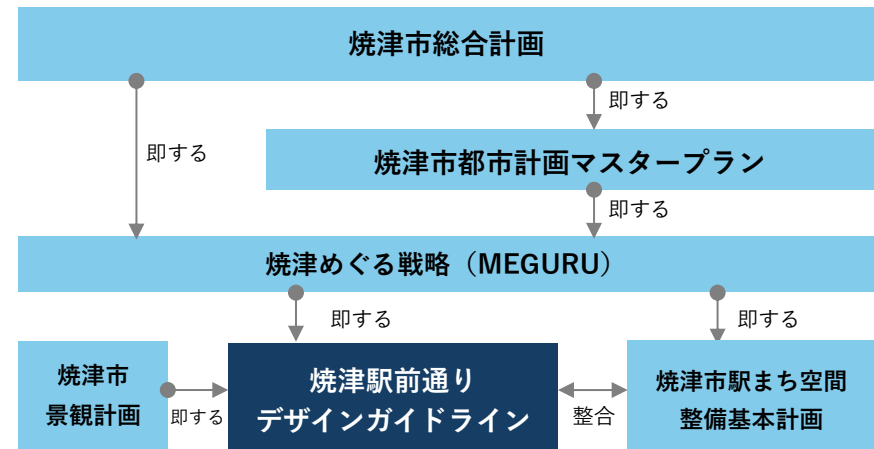


対象地

- ハード的な街並みづくり（建物を含む沿道空間）と道路空間づくりを一体的に捉え、デザインの方向性・方針を示す「デザイン指針」（p.8）を定めます。これを共有ビジョンとして、官民連携により魅力的な街並み・道路空間の実現に向けた取組を推進します。
- ソフト的な人々のまちづくり活動については、「将来像の実現に向けて」（p.24）において、まちづくり活動の基本的な考え方や進め方を示し、官民連携のエリアマネジメントを促進します。



### ◀ 関連計画における本ガイドラインの位置付け ▶



## 2 策定経過 ～まちなかストリートデザインワークショップの軌跡～

- 本ガイドラインの策定にあたっては、令和7年度に5回にわたる「まちなかストリートデザインワークショップ」を通じて、商店主・地権者、地域住民、行政が一体となり、検討を進めてきました。
- ワークショップには、田中智之先生（早稲田大学理工学術院教授）を招き、適宜アドバイスを頂きました。



### 駅前通りの現状を共有する



#### 大切にしたい点

レトロな街並みがいい

店舗どうしの繋がりが強く、関係が良好

歩道が広くて歩きやすい

コミュニティがある

空き店舗活用が進まない

子どもが安全に歩けない

休憩スペースが少ない

アーケードの老朽化がひどい

改善したい点



### アーケードの未来を考える

- 駅前通りの重要な要素であるアーケードに着目し、今後のあり方について議論を進めました。

パターン①維持



安全性を確保しつつ、現在のアーケードを維持する

パターン②改修

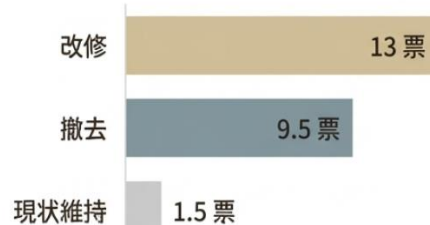


現在の躯体を活用し、新たな姿へ改修する

パターン③撤去



アーケードを撤去し、開放的な通りへ再整備する



・最終的に投票を行い、「改修」が最も多い結果となったことから、本ガイドラインではアーケードを改修する想定として整理します。  
 ※アーケードの改修を決定するものではありません。最終決定は所有者である駅前通り商店街振興組合となります。

### 3 駅前通りの将来像

#### (1) 駅前通りが目指す姿

## 人情味があふれ、焼津愛が育まれる“みんなの居場所”

～ふらっと立ち寄りたくなる えきまち・みなとまちストリート～



## (2) 駅前通りの将来像の体系

# 人情味があふれ、焼津愛が育まれる“みんなの居場所“

～ふらっと立ち寄りたくなる えきまち・みなとまちストリート～



### 将来のまちづくりの5つの方針

「駅前通りが目指す姿」を実現するための  
まちづくりの基本的な考え方



誰でも思い思いに過ごし  
多様な交流が生まれる



こどもが安心して楽しく過ごせる



商店街の懐かしさと新しさが融合し  
魅力があふれる



焼津らしさに出会える



焼津駅や港との連続性を活かして  
にぎわいがあふれる

### ストリートデザインの3つの方針

「将来のまちづくりの5つの方針」を基に  
将来像に相応しい街並みや道路空間を創出する考え方



個店の魅力が光る  
親しみと温かさのある「街並みづくり」



だれもが安心でき  
多様な交流が生まれる「道路空間づくり」



人の回遊性を高める  
「“つなぎの場”のデザインづくり」



### (3) 将来のまちづくりの5つの方針



#### 誰でも思い思いに過ごし 多様な交流が生まれる

日常的な買い物や食事をはじめ、散歩や休息、知人との談笑など、様々な思いで立ち寄ることができる場づくりを進めます。これまで開催してきている催事やイベントなどを継続するとともに、通りに関わる多様な人々が協力して新たな取組みを展開し、多様な交流を生み出します。



出典:p.29, No.1



#### 子どもが安心して楽しく 過ごせる

駅前通りには、核となる施設であるターントクルこども館をはじめ、小中高生が訪れるお店や施設があります。これらの店舗や施設を活かして、子どもたちが楽しく過ごせる通りづくりを進め、親子が安心して滞在・滞留できるようにします。



出典:p.29, No.1



#### 商店街の懐かしさと新しさが 融合し魅力があふれる

駅前通りには、昔ながらの商店や店主の顔が見える人情味あふれる雰囲気が色濃く残っています。近年は、新築や改修により新たな魅力を備えた店舗も登場し、新旧の魅力が共存する通りとして変化しています。今後も新旧の融合を大切にしながら、より魅力ある通りづくりに取り組みます。



#### 焼津らしさに出会える

古くから水産業を中心に栄えてきた焼津の食文化や生活文化を活かし、焼津駅に訪れた来訪者や観光客が楽しめる飲食店や土産店、体験工房等の誘致に努め、焼津らしさが感じられる通りづくりを進めていきます。また、焼津の人との交流や居心地の良い空間づくりを含め、おもてなしの心が伝わる環境を整えていきます。



#### 焼津駅や港との連続性を活 かしてにぎわいがあふれる

焼津駅や焼津内港に隣接する立地の優位性を活かし、周辺の住民や通勤・通学者、来訪者を呼び込み、人の流れの循環を生み出すとともに、活気や楽しさが周辺部に広がるにぎわい軸を創出します。



#### (4) ストリートデザインの3つの方針



##### 個店の魅力が光る 親しみと温かさのある「街並みづくり」

沿道の街並みは、通りとしての一体感・統一感を保ちながら、各店舗の個性を活かしたファサードや広告物、さらに昔ながらの建物や看板の味わいも大切に、新旧が調和した親しみと温かさを感じる景観を形成します。



##### だれもが安心でき 多様な交流が生まれる「道路空間づくり」

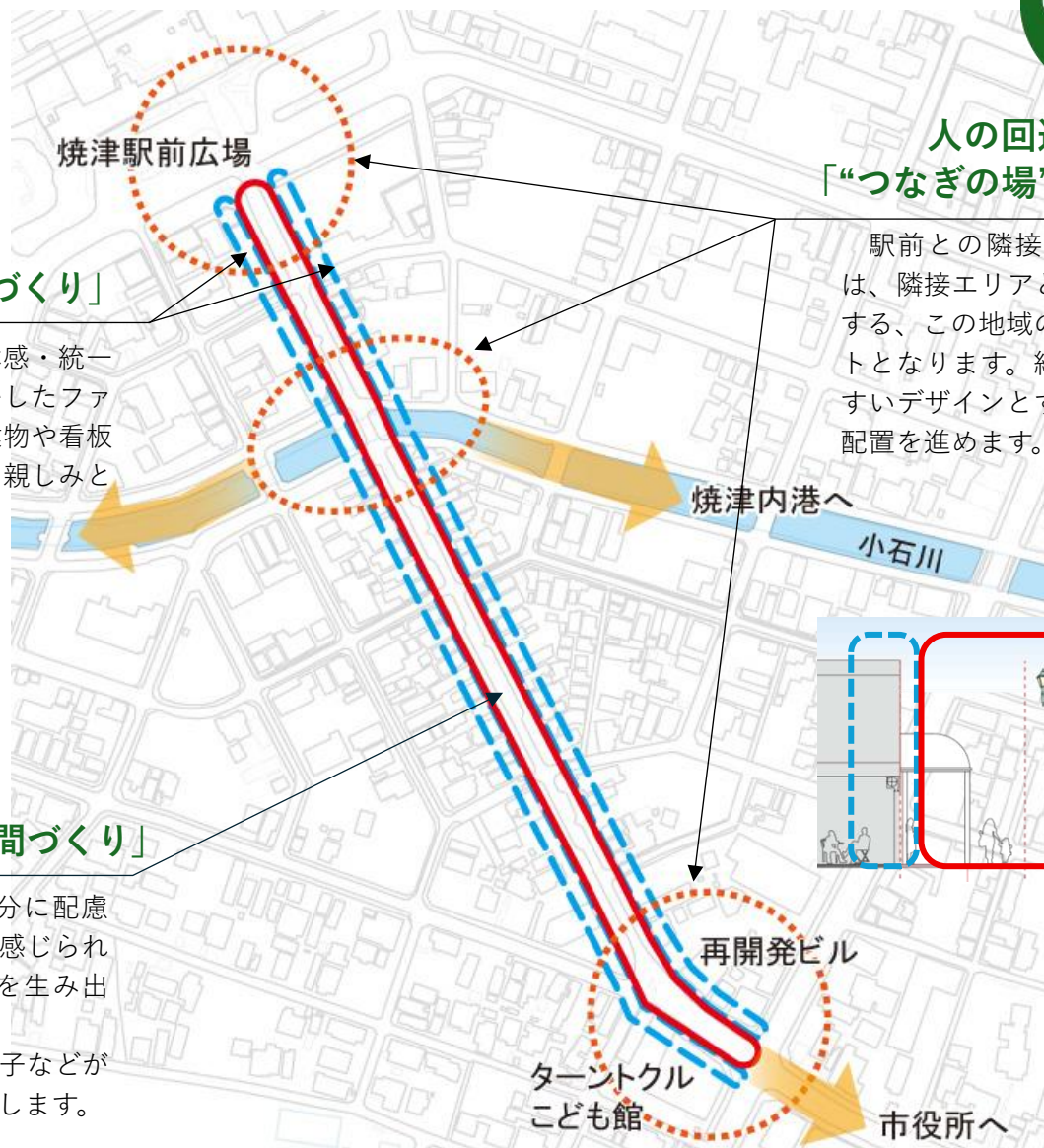
道路空間は、歩行者の安全性に十分に配慮しつつ、緑や小石川を活かした潤いを感じられて居心地が良く、さらに多様な交流を生み出すような空間の形成を図ります。

ターントクルこども館に來訪する親子などが安心して気軽に滞留できる空間を創出します。



##### 人の回遊性を高める 「つなぎの場」のデザインづくり

駅前との隣接街区や小石川との交点などは、隣接エリアとの連続性や人の流れを誘導する、この地域の賑わい創出に重要なポイントとなります。結節点であることを認識しやすいデザインとするとともに、案内サインの配置を進めます。



断面イメージ

## 4 デザイン指針

### (1) デザイン指針とは

- 建物の新築や改修、修景や、道路・公園の整備、改修時などに、建築主や事業者、行政（市・県）等が、配慮するよう努める内容を示すものです。
- 法律や条例で厳しく規制されるものではなく、できる限り守ってもらうよう考え方を整理します。
- 建物や公共空間の整備、改修の際には、本指針を基本としつつ、さらに創意工夫を発揮し、より良好な街並みの形成につながることを望まれます。
- デザイン指針は、ストリートデザインの 3 つの方針に合わせて示します。

#### 《デザイン指針の項目》



#### 個店の魅力が光る親しみと温かさのある「街並みづくり」

##### 商店街としての街並みの維持 通りの統一感・一体感を創出する

アーケード	p.11
建物用途	p.12
店舗の間口	p.12
建物の高さ	p.12
壁面の位置	p.12
壁面の色彩	p.12

##### 個々の店舗の魅力向上 親しみと温かさ感じられる

壁面デザイン	p.13
壁面素材	p.13
ディスプレイ	p.14
シャッター	p.14
建築設備	p.14
照明	p.14
花・みどり	p.14
屋外広告物	p.15

##### 滞留や回遊性の向上 通りに奥行き感、立体感を出す

沿道のオープンスペース	p.16
-------------	------

#### だれもが安心でき多様な交流が生まれる「道路空間づくり」



道路構造	p.17
滞留空間・ストリートファニチャー	p.19
夜間景観の創出	p.19
緑化	p.19



#### 人の回遊性を高める「“つなぎの場”のデザインづくり」

駅前広場との連続性やにぎわいを誘導するデザイン	p.21
小石川を活かし内港に導くデザイン	p.22
ターントクルこども館と再開発ビル周辺のデザイン	p.23

## 《デザイン指針策定の背景と考え方》

- ・近年、焼津駅駅舎や駅前広場の再整備、駅前通り沿道における再開発事業の検討が進められており、この効果により商店街での出店の増加や人の流れの拡大が期待されます。
- ・このような変化にあわせて、駅前通り沿道の建物や道路等の整備・改修が進むことが期待されます。しかし、整備主体の趣味趣向のみで進めていくと、調和のないバラバラなまち並みが出来たり、周辺の環境などと不釣り合いな建物などが発生したりする要因になります。全国各地では、このようなことを防止し、周囲の地域特性と調和する良好な街並みづくりのために、指針や基準がつけられています。

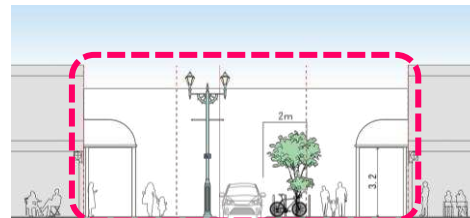


かつての元町通り（横浜市）  
出典：p.29, No.2



現在の元町通り（横浜市）  
出典：p.29, No.3

- ・駅前通りにおいても、焼津駅や駅前広場等の再編の流れやまちづくりの動向を踏まえつつ、歩いてみたい、買い物をしたい、お店を出したい等と思わせる魅力的な通りを形成するために、駅前通りの沿道建物や公共空間を整備・改修する際のデザイン上の基本的な考え方や配慮すべき事項を、デザイン指針としてまとめました。
- ・デザイン指針は、地権者や住民、事業者、行政等が共有する共通指針として捉え、次の点に配慮してとりまとめています。



▲デザイン指針が対象とする空間

### ①統一感のある街並み形成

- ・駅前通り沿道の各店舗で、看板のサイズや外壁色に統一感を持たせることにより、商店街として分かりやすい統一感や一体感が感じられる街並みを形成します。

### ②街並みを阻害する要因の発生抑制

- ・派手な色彩の建物や大きすぎる看板など、形態や意匠が著しく突出した物件の発生は、街並みを容易に阻害する恐れがあることから、これらが極力発生しないように配慮します。

### ③地域の特性や文化の活用

- ・焼津らしい街並みの創出、焼津の特徴的な文化継承のために、かつてあった漁港のかまぼこ屋根のイメージの継承や港町としての文化を街並みに活かしていきます。

### ④個々の店舗の魅力の向上

- ・人情味があり入りやすい店構えや趣のある店舗演出等により、個々の店舗の魅力の向上を図ります。

### ⑤潤いある空間の創出

- ・道路への街路樹植栽や、店舗前の緑化により、潤いある空間を創出します。

### ⑥滞留や回遊性の向上

- ・使ってみたくなるストリートファニチャーの設置や、分かりやすい案内板の設置、歩きたくなる道路のデザイン等により、滞留や回遊性を高めていきます。

### ⑦周辺部とのデザイン連携

- ・連続する駅前広場と舗装等のデザイン統一を図るなど、通りと周辺部でデザインの連携を図ることにより、駅から商店街への人の流れをつくり出します。

# みんなで目指す 駅前通りの将来イメージ

## 個店の魅力が光る 親しみと温かさのある街並み

樹形の美しい緑が際立ち、通りに潤いを感じられる

明るい雰囲気のアークード

店主との会話を楽しめる店

気軽に座れる常設ベンチ



シンプルな街灯と、通りを活気づけるバナー

商店街としての街並みが維持され、魅力ある店舗が並ぶ

焼津ならではの店

自然と交流が生まれる休憩スペース（仮設テーブル）

歩行者の目を楽しませる花・みどり

可動式のポラードやフルフラット化等により、道路空間を自由に活用できる

シェアードスペース広場のような居心地のよい空間

**だれもが安心でき多様な交流が生まれる道路空間**

## (2) デザイン指針の内容

※「将来のまちづくりの5つの方針」(p.6)と関連するデザイン指針の項目については、項目横に関連する方針のアイコンを着色し掲載しています。



# 個店の魅力が光る 親しみと温かさのある「街並みづくり」

商店街としての街並みの維持 通りの統一感・一体感を創出する

### ■アーケード



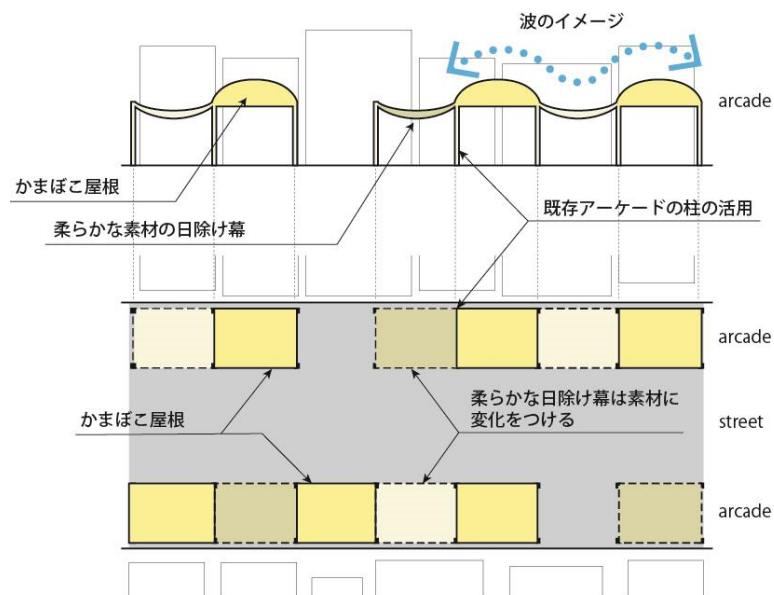
アーケードの改修イメージを次のように提案します。

- ・重々しくない明るくシンプルなデザインを基本とします。
- ・屋根形状は、かつてあった焼津漁港のかまぼこ屋根を踏襲するなど、焼津らしさを映し出すデザインとします。
- ・屋根材は、通り空間に明るく開放的な雰囲気を与えるものにします。
- ・アーケードに付けるサインは必要最小限とし、シンプルな文字・形態で統一します。
- ・照明は、眩しさを抑えた間接照明で、通り全体を均一に照らし、安心して歩ける落ち着いた空間とします。



### アーケードの改修イメージ・案

- 既存のアーケードの柱を活かし、かつてあった焼津漁港のかまぼこ屋根と柔らかな素材による日除け幕を適宜配置して、波をイメージした形を有する、軽快で焼津らしさのあるアーケードに改修することを提案します。



## ■ 建物用途



- ・ 1階部分は、歩行者が「店が並んでいる」ことを感じられるよう、商業、業務等の用途に努めます。

## ■ 店舗の間口



- ・ 駅前通りの特徴を維持するため、同程度の店舗の間口を連続して配置するよう努めます。

小さな間口が連続するのが商店街の特徴です。  
リズムが生まれ、歩行が楽しくなります。  
スケールの小ささは「親しみやすさ」につながります。



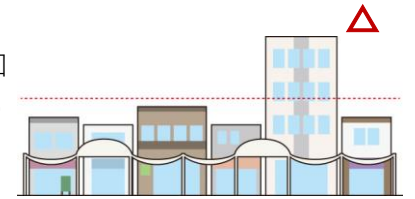
- ・ 大規模な建物の1階部分は、商店街のスケール感に配慮し、水平・垂直のライン、色彩、素材の切替、凹凸による分節など工夫に努めます。



## ■ 建物の高さ



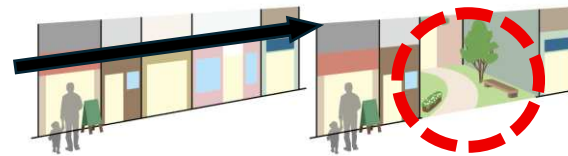
- ・ 建物の高さは周辺の街並みとの調和に配慮し、過度に高くないよう配慮します。



## ■ 壁面の位置



- ・ 隣接する既存の建物と壁面ラインを揃えることで、通りの連続性や統一感を維持します。
- ・ 通りから壁面を大きく後退させる場合は、後退したスペースにベンチやテーブルの配置、積極的な緑化等により、居心地が良く、親子などが休息でき、にぎわいや潤いをもたらす「場」として活用します。



## ■ 壁面の色彩



- ・ 主体となる壁面の色彩は、空や周囲の景観と調和しやすい、自然でやわらかな色合いの白や明度の高いベージュ・グレー・茶系の使用に努めます。
- ・ 1階部分の壁面については、店舗の個性を生かしつつ、周囲の景観に調和する色彩とし、高彩度の色を広範囲に使用しないよう努めます。



## 個々の店舗の魅力向上 親しみと温かさ感じられる

### ■壁面デザイン

- ・通りに面する外壁は、窓のない壁面や同じデザインの壁面が長く連続するなど単調にならないよう工夫します。
- ・1階部分は、通りににぎわいを生み、店の雰囲気や人の気配が適度に感じられるよう、各店舗が個性を活かした開口部（入口・窓）を設けます。

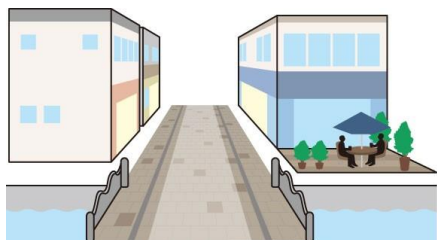


大きな開口部は店舗の雰囲気や店内のにぎわいが通りにしみ出しやすい

- ・交差点や河川沿いに建つ建物は、建物全体がよく目立つため、周囲からの見え方に配慮しながら、魅力的なデザインに努めます。



交差点に面する建物は、交差点を正面に開口部を設けるなど、角地を意識したデザインの工夫を行うとよいでしょう

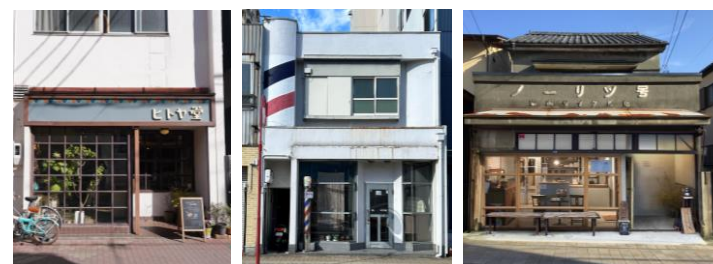


建物は、川にも顔を向けたデザインにするとよいでしょう

- ・商店街の歴史や懐かしさを感じさせるレトロなデザインは、魅力として評価し、店舗デザインに活かします。



駅前通りでレトロデザインを探そう



◀かつての看板「ノーリツ号」をそのまま残すかたちで、リノベーションされている。（三島市中央町）

### ■壁面素材

- ・歩行者が温かみと落ち着きを感じられるよう、過度な光沢のある金属板・鏡面仕上げは避け、自然の質感が得られる塗り壁やタイル、木材等の使用に努めます。



▲素材イメージ

## ■ディスプレイ

・歩行者が立ち止まりたくなるよう、季節感・地域性・店舗の個性の表現に努めます。



商品があふれ、思わず手にとってみたくなる



ショーウィンドウは、見栄え良く、楽しく

ウィンドウペイント  
で季節感を演出



店のコンセプトや世界観を外観全体で表現しよう

## ■シャッター

・夜間や閉店時でも明るく楽しく、安全な街にするためシャッターアートや店内が見えるシースルーシャッター等を採用し、適切な照明演出に努めます。



## ■建築設備

・空調室外機や電気・ガスメーター等は、通りから目立たない位置に設置し、露出する場合は外壁と調和した意匠の囲い等により目隠しを行います。



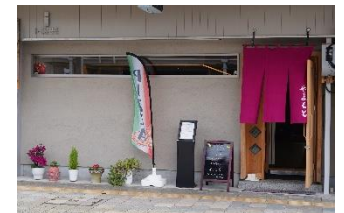
## ■照明

・温かみのある適度な照明を設け、安全でやさしい夜間景観の形成に努めます。  
・壁面全体を強く照らす照明は避け、歩行者の視線の高さを意識した間接照明やスポット照明を用いることで、魅力的な演出に努めます。



## ■花・みどり

・店舗前には、点字ブロックの通行の妨げにならない範囲で、季節感や潤いを感じられる緑化を行います。



## ■屋外広告物

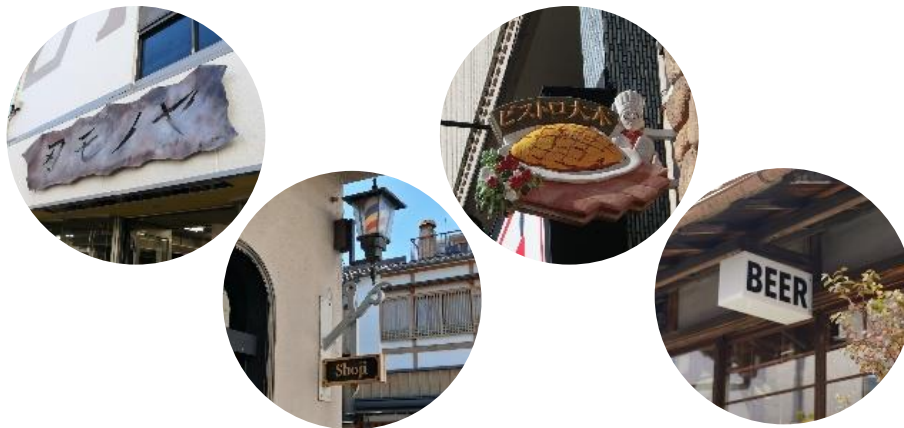
- ・屋外広告物は、設置の仕方（色・数・大きさ）によって周辺の景観や街並みに大きな影響を与えるため、下記の事項に配慮します。

### （共通事項）

- ・掲出するものは、自家広告物のみとするとともに、街並みと調和する大きさや数とし、質の高いデザインとなるよう心がけます。



見る人の目を引き、個店の魅力が伝わるデザインにしましょう



看板を見たらどんなお店かすぐに分かるように

- ・彩度の高い色彩や人の顔写真などの使用は避けます。
- ・通行の支障になる場所に、置き看板、のぼり旗、簡易な看板等は、設置しないようにします。
- ・のぼり旗は常設として多用しないようにします。
- ・過度な点滅・発光など、景観を阻害する表示は避けます。



### （壁面利用広告物、窓面利用広告物）

- ・建物と一体化した、切り文字・箱文字の使用に努め、必要最小限の大きさとしします。



- ・窓面には屋内からも含め広告物でガラス面全体を覆うような表示は避けます。
- ・中・高層階には、広告板を掲出しないよう努めます。
- ・交差点や河川沿いに建つ建物は、建物全体がよく目立つため、過度に広告板を掲出しないようにします。



窓面広告

交差点部の過剰広告

河川沿いの過剰広告

### (禁止サイン)

- ・マナーサインは、できるだけ統一し、誰でも認識できるピクトグラムやデザイン性の高いものを使用します。



フンの始末を  
してください  
Please Pick up  
After Your Pets



### 静岡県屋外広告物条例を確認しましょう！

焼津市では、静岡県屋外広告物条例に基づき、市内に規制地域を指定し、屋外広告物の大きさ・高さなどのルールを設けています。

また、屋外広告物を掲出する場合は、原則、静岡県屋外広告物条例に基づく許可が必要です。

掲出しようとするときは、屋外広告物条例の内容を確認するようにしましょう。

(問合せ先：焼津市都市計画課計画担当 TEL：626-2160)

### 滞留や回遊性の向上 通りに奥行き感、立体感を出す

#### ■ 沿道のオープンスペース



- ・沿道と繋がる路地などの小空間を積極的に設け、休息・滞留・回遊を誘発するテラスや縁側の空間を組み合わせることで、誰もが、居心地の良い空間を創出します。



◀ 複合商業施設に通り抜けできる路地や階段をつくっている（静岡市パッサージュ）



◀ 沿道と繋がる小空間にテラスを設けている（丸玉園：駅前通り商店街）



出典：p.29, No.5



出典：p.29, No.5



出典：p.29, No.5

© yashiro photo office

- ▲ 誰でも気軽に立ち寄れるオープンな雰囲気。カフェが併設され、店内には庭や屋上テラスなどがある。（オモケンパーク：熊本市上通商店街）



# だれもが安心でき多様な交流が生まれる「道路空間づくり」

## ■道路構造



- 道路構造は、シェアードスペースの考え方に基づき、フルフラット化等により歩行空間をできる限り広く確保することで、来訪者の回遊を促し、誰もが安全に歩ける道路を目指します。
- 車道と歩道の境界を、埋設式ボラードや舗装材の変化（素材、色、パターン）によって視覚的に示します。
- 車両の乗入れ部分については、車両荷重に十分耐え得る耐久性を備え、かつ周辺景観と調和し、歩行者に配慮した舗装材を採用します。
- 駅前広場と連続性のある舗装デザインを採用し、人の流れを誘導します。
- 道路構造令等の関係法令に則り、安全性に配慮します。

### シェアードスペースとは

シェアードスペースとは、段差や白線、信号機、標識がほとんどなく、車、自転車、歩行者が、同じ空間を共有していこうとする考え方やデザイン手法のことであり、歩車間のアイコンタクトや譲り合いによって安全な交通空間を目指すものです。

シェアードスペースは、フルフラットで歩車が一体となった舗装等によって歩行者優先に対する意識が高まり、車の速度を抑制するとともに、広場のような居心地のよい空間を創出することにより、商業活性化や良好なコミュニティ形成も期待できます。

### 《事例》 ウィーン・マリアヒルファー通り



出典:p.29, No.6

◆オーストリア・ウィーンのマリアヒルファー通りは、シェアードスペースの考え方を取り入れた街路整備の代表的な事例です。再整備により、歩行者・自転車・自動車が共存する構成としています。車道と歩道の区分を緩やかにし、舗装を連続させることで歩行者優先の意識を促しています。整備後は来街者の増加や沿道のにぎわいが見られ、都市空間の質向上に寄与しています。

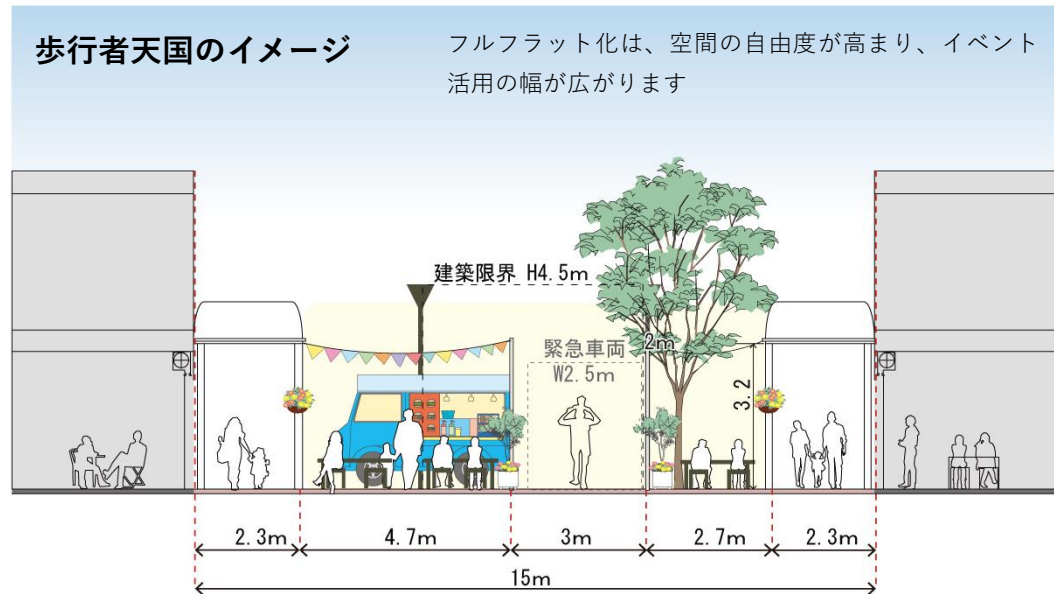
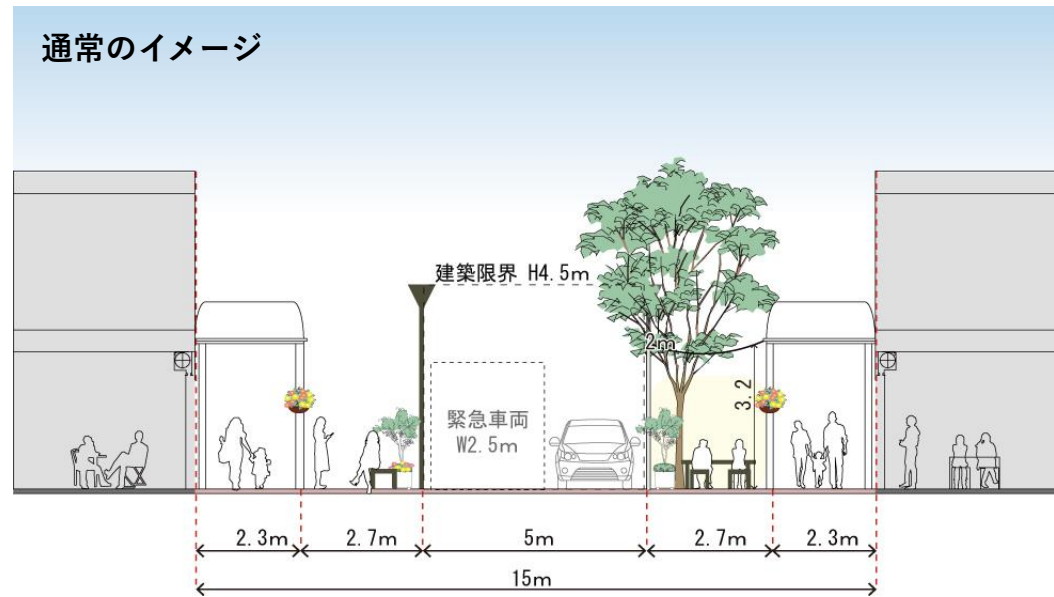
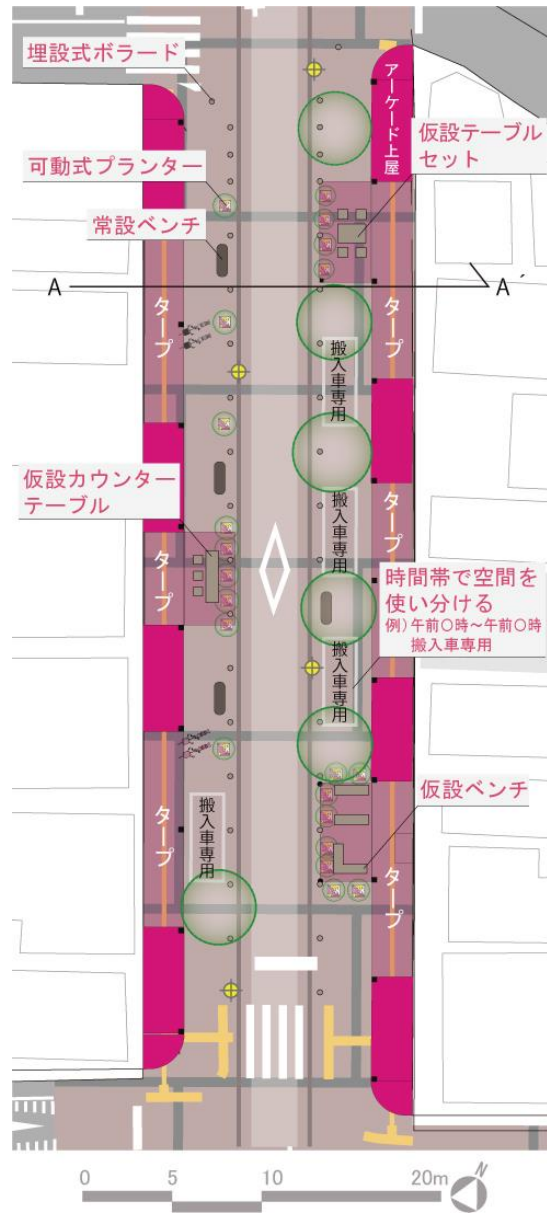
### 島根県出雲市 神門通り



出典:p.29, No.7

◆日本のシェアードスペース事例の一つとして挙げられる出雲市神門通りは、車道を5mに狭め、片側3.5mの歩道を整備しました。歩道の舗装を工夫して車道幅員を狭く感じさせ、歩車共存道路であることを認識させています。改修整備後、観光客は増加し、沿道店舗の出店も増加し、にぎわい創出に繋がっています。事故件数が増えることなく、安全性・快適性が高まったと評価されています。

《アーケードの改修+フルフラット化のイメージ》



## ■ 滞留空間・ストリートファニチャー

- ・歩道上には、沿道地権者の意向を踏まえて、ベンチやカウンターなどの常設のストリートファニチャーや仮設のテーブルセット等を適切に設置します。



▲仮設のカウンターテーブル、テーブルセット、パラソル等

- ・ストリートファニチャーは、軽快で明るいアーケードとの調和に配慮し、圧迫感を与えないデザインとするとともに、自然素材又は落ち着いた色調を基本としたものとします。



◀カウンターテーブル、ボラード、街灯等のファニチャーは、すっきりとしたデザインでまとまりを感じさせる。(岡山市ハレ町通り)

出典:p.29, No.8

出典:p.29, No.8

## ■ 夜間景観の創出

- ・アーケード照明および街路灯には、利用者に不快感を与えないよう、不快なまぶしさのない光源を使用し、温かみを感じられる安全で魅力的な夜間景観を演出します。
- ・街灯のデザインは、軽快で明るいアーケードとの調和に配慮し、すっきりとしたシンプルなデザインとします。



シンプルな照明デザインのイメージ

## ■ 緑化

- ・緑を実感できる潤いある駅前通りとして、来訪者が快適に往来できるように緑陰をつくるために、歩道部には中高木の街路樹を配置します。
- ・街路樹は、維持管理のしやすさや鳥害等に留意しつつ、軽快で明るいアーケードと調和するよう、枝葉が繊細で、空間に軽快な印象を与える樹木とします。

### 樹種例



ムサシノケヤキ

ヤマボウシ

イロハモミジ

可動式プランター

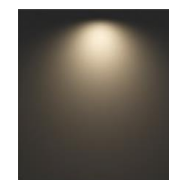
- ・足元やアイレベルでの潤いを創出するために、可動式のプランターなどで、季節が感じられる花・みどりを配置します。



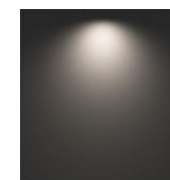
2700K  
(電球色)  
癒し・和み



3000K  
(電球色)  
温かみ・落ち着



3500K  
(温白色)  
活発・華やか



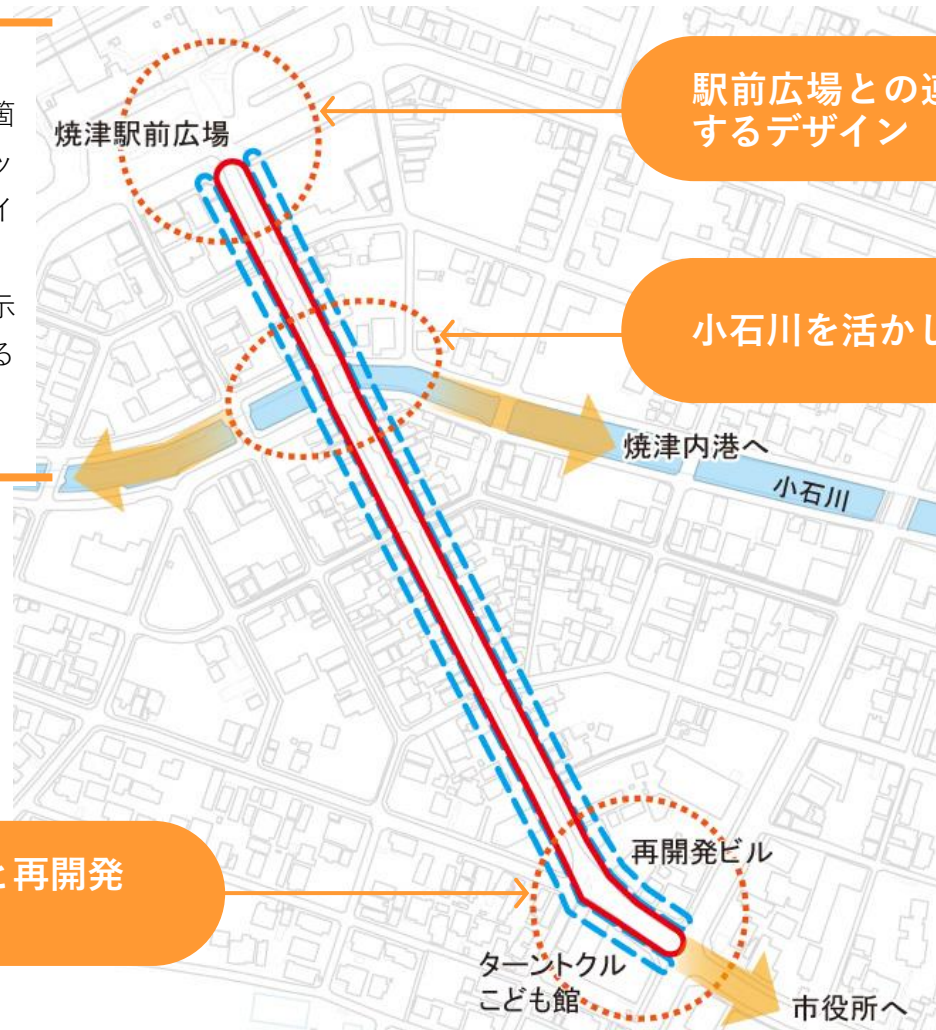
4000K  
(白色)  
明るい・すっきり

▲照明の色温度(ケルビン:K)を変えるだけで、空間の印象が変わります



## 人の回遊性を高める「“つなぎの場”のデザインづくり」

- 本節では、“つなぎの場”となる3箇所において、将来イメージをスケッチで示し、建物や公共空間のデザインや使い方を提案します。
- “つなぎの場”においては、本節で示す内容に極力配慮して整備を進めることが望まれます。



ターントクルこども館と再開発ビル周辺のデザイン

駅前広場との連続性やにぎわいを誘導するデザイン

小石川を活かし、内港に導くデザイン

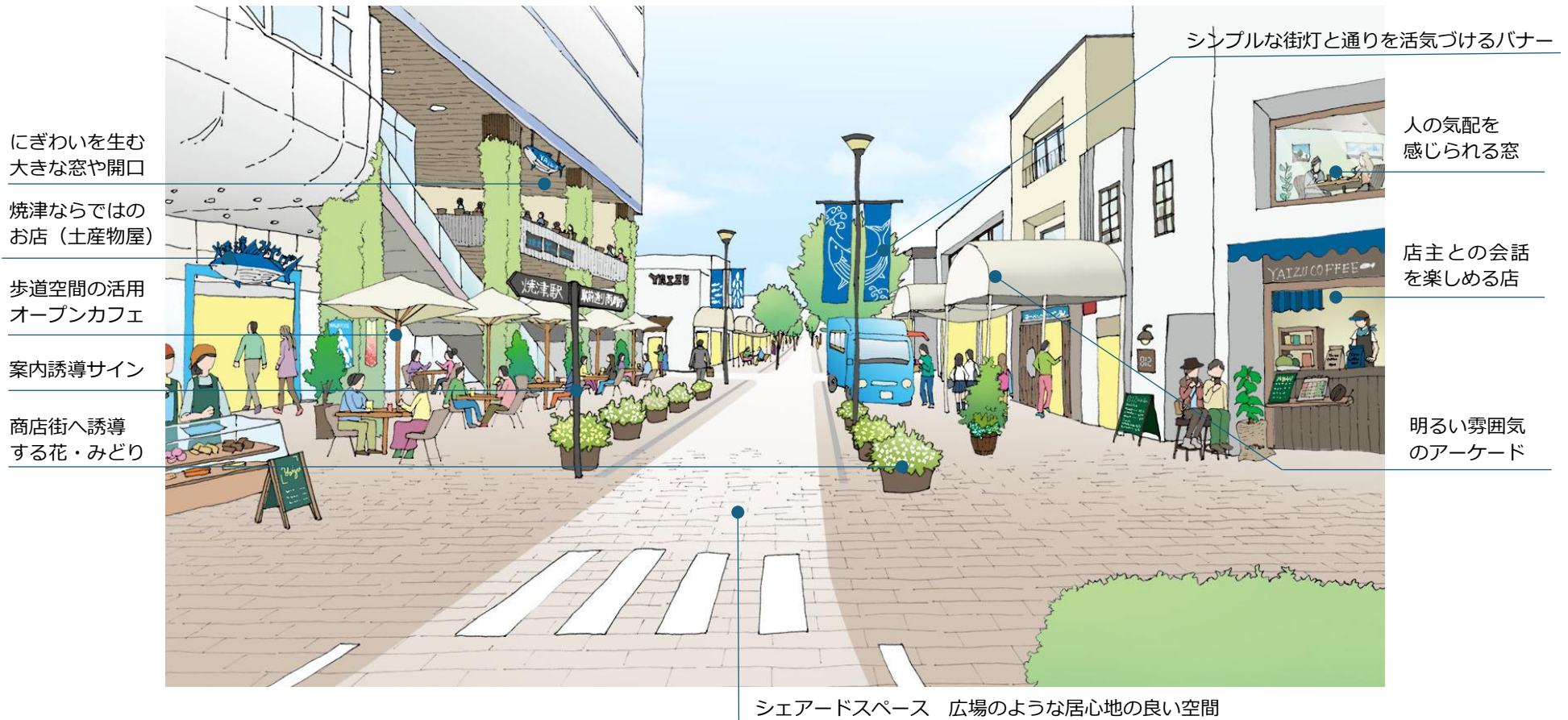
## ■ 駅前広場との連続性やにぎわいを誘導するデザイン



- ・駅前広場と駅前通りを結ぶハブプレイスとして、あるいは駅前通りの入口として相応しい、緑があふれ華やかさのある広場のような道路空間とします。
- ・駅前広場と連続するデザインとなるよう、同じ舗装材の使用や、連続性のある緑化を施します。

- ・ターントクルこども館や市役所方面及び焼津内港方面に誘導するよう案内誘導サインを設置します。
- ・歩道内には、キッチンカーが配置できるスペースを確保します。
- ・歩行空間には、テーブルやベンチの配置ができ、出店ができるような空間とします。

### 《将来イメージ》



にぎわいを生む  
大きな窓や開口

焼津ならではの  
お店（土産物屋）

歩道空間の活用  
オープンカフェ

案内誘導サイン

商店街へ誘導  
する花・みどり

シンプルな街灯と通りを活気づけるバナー

人の気配を  
感じられる窓

店主との会話  
を楽しめる店

明るい雰囲気  
のアーケード

シェアードスペース 広場のような居心地の良い空間

## ■小石川を活かし、内港に導くデザイン



- ・めがね橋上は、歩行者・水辺のネットワークが交差するクロスプレイスであることを通過者に認識させるため、シンボル性を高めるよう、サークル状の上屋を備えた橋上広場を創出します。
- ・ターントクルこども館や市役所方面及び焼津内港方面に誘導するよう案内誘導サインを設置します。

- ・交差点や河川沿いに建つ建物は、建物全体がよく目立つため、周囲からの見え方に配慮しながら、魅力的なデザインに努めます。
- ・めがね橋から小石川に向けてステップ上の小広場を設け、シンプルな欄干を設置することにより、河川への透過性と親水性を高めつつ広がりのある橋上広場を形成します。

### 《将来イメージ》

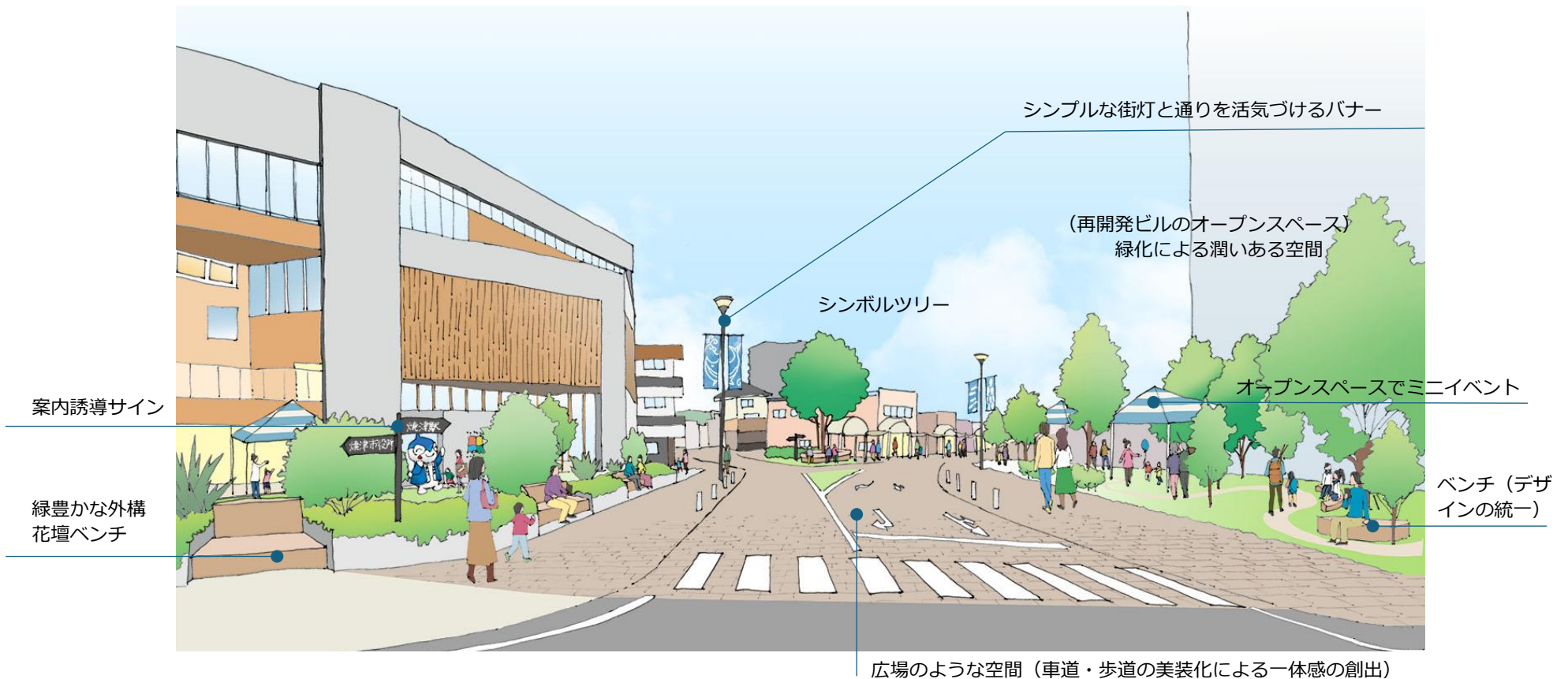


## ■ ターンクル子ども館と再開発ビル周辺のデザイン



- ・ ターンクル子ども館と再開発ビル周辺は、みどりを活かした、ゆとりある広場のような道路空間を創出します。
- ・ ターンクル子ども館の外構は、現在の芝生を維持しつつ樹木の植栽を検討します。また、再開発ビルのオープンスペースにおいても、緑化を進め、潤いある空間の創出を図ります。
- ・ ターンクル子ども館と再開発ビルの敷地内に設置するベンチ等のストリートファニチャーは、デザインの統一を図ることにより、一体感を創出します。
- ・ 焼津駅方面や市役所方面及び焼津内港方面に誘導するよう案内誘導サインを設置します。
- ・ 車道と歩道については、互いに調和したデザインによる美装化を図り、広場のような空間を創出します。
- ・ 車道の分岐点部にアイストップとなるシンボルツリーを植栽することにより、シンボリックな景観を形成します。

### 《将来イメージ》



## 5 将来像の実現に向けて

将来像実現のためには、街並み・道路空間づくりだけでなく、イベントや賑わいの仕組み、維持管理等のソフト面の取組みもバランス良く進めていく必要があります。

本節では、まちづくり活動の考え方や段階的な推進イメージなどを示します。

### (1) 官民が連携したまちづくり活動

#### ①まちづくり活動推進の基本的な考え方

本ガイドラインは、「人情味があふれ、焼津愛が育まれる“みんなの居場所”」をメインコンセプトに掲げています。

ガイドラインを活かして、地域特性と調和する良好な街並みをつくることはもちろんですが、それに加えて、地域主体で様々な活動を展開することにより、地域住民や訪れた人がまちやみちを自由に使い・楽しむ、あるいは多様な交流を満喫するといった行動が生まれ、

「人情味」を味わい、「焼津愛」や「居場所感」が徐々に育まれていきます。

ガイドラインの周知を図り、沿道事業者や地権者の理解を深めて適切に運用するとともに、多様な主体が協働しながら、少しずつ活動を展開・継続していくための基本的な考え方は、次のとおりです。

#### はじめる

簡単な準備だけで始められることや、気軽に参加できそうな活動など、まずは小さな活動を始めて、徐々に積み重ねていくことで、少しずつ街並みが増えたり、駅前通りに関わる人が増えたりします。

いきなり完璧な状態からスタートさせようとせず、まずは実験的に、お試しプロジェクトとして展開することも効果的です。

#### つづける

一度始めた活動を継続するためには、活動内容の見直しや無理のない運営体制を研究することが大切です。

駅前通りでは、道路を使ったイベント「みんなで作るみんなのアソビバ」や地域の行事「えびす講」、など、多くのイベントや行事が行われています。これらの取組みを今後も継続していくためには、取組みに関する情報発信や、担い手づくり等を行っていくことが大切です。

#### ひろげる

沿道事業者や地権者が連携したり、気軽に情報共有したりする機会を設けることで、活動体制がより充実します。

店舗やイベントに関する情報を、駅前通りとして一体的に発信することで、交流の増加につながります。

駅前通りに出店したい人がチャレンジしやすい取組みや、こども・若者が駅前通りを好きになれるような活動を展開することで、担い手づくりにつながります。

## ②まちづくり活動のステップアップのイメージ

小さな変化を起こしつつ、徐々にその活動を定着・拡大させていくために、段階的に活動を展開していきます。またこれらの段階的な活動においては、行政が伴走支援することで、官民連携による駅前通りのまちづくりを進めていきます。

将来的にはエリアマネジメント組織を構築し、駅前通りの将来像の実現を目指します。

また、これらの動向と歩調を合わせ、街並みの誘導や道路等の公共空間の再整備も進めていきます。

### ●既存の取組み・イベントを続ける

アソビバやえびす講など、既存の取組みやイベントを継続する

### ●小さなアクション・お試しいイベントに取り組む

ゴミ拾い、フラワーポットの設置など、気軽な活動やイベントを始める

### ●情報を広げる

商店街での活動やイベント等に関する情報発信を行う

### ●活動内容をブラッシュアップする

効果を確認しながら、活動内容をブラッシュアップする。

### ●新たな活動を企画する

関係者の横のつながりを活かして、新たなイベント等にチャレンジしてみる

### ●横のつながりを広げる

沿道事業者や地権者の情報交換や勉強会を行う

### ●関わる人を増やし、新たな担い手を育てる

この商店街に出店したい！という人がお試しいで出店できる仕組みや、こどもや若者が焼津を好きになれるような取組みにつなげていき、新たな担い手や仲間を育てる

### ●エリアマネジメント組織を整え、活動を継続・拡大する

これまでの経験を活かし、エリアマネジメント組織を構築し、商店街の将来像の実現を目指す

## STEP 1

小さく始める・試す

## STEP 2

活動を磨く・展開する

## STEP 3

新たな関わりをつくる

## STEP 4

新たな組織をつくる

市の伴走支援

- デザインガイドラインの周知
- 景観条例や屋外広告物条例等の運用による街並みの誘導の検討
- 公共空間の再整備に向けた検討・社会実験
- アーケード改修の検討支援
- 公共空間の再整備

- 公共空間や街並みの継続的な維持管理

### ③具体的な取組アイデア

p.25 で示すステップごとの具体的な取組アイデアや考え方は下記のとおりです。ステップ1～3のアイデアについては、まちなかストリートデザインワークショップでの意見交換の結果を踏まえて整理した内容です。

## STEP 1 小さく始める・試す

### ● 既存の取組み・イベントを続ける

アソビバ／えびす講／みそか市／小石川踊夏祭プレイベント／小石川マルシェ／かつお SHOW てん／すきまるしえ／アートスペース焼津でのクラシックコンサート・自主上映会・絵画展 等

### ● 小さなアクションを起こす／お試して取り組む

ゴミ拾い／花壇づくり／畑／季節感あるディスプレイで統一／店舗前の花・みどりを統一 等

### ● 情報を広げる

#### < 多様なメディアで発信する >

観光情報拠点づくり／イベントカレンダー作成・共有／商店街ニュース（冊子）等の発行／レディオラッシュによる情報発信 等

#### < 空き家・空き店舗の情報収集・発信 >

ランドバンクの強化 等



## STEP 2 活動を磨く・展開する

### ● 新たな活動を企画する

#### < イベントでいろんな人が来たくなる仕掛けを >

軽トラ市・キッチンカーイベント／ウォーキングイベント／ショートフィルムフェスティバル／一か月間の感謝祭／ビアガーデン／盆おどり大会／大人のアソビバ 等

#### < 沿道事業者で協力、店舗を巡ってもらう取組 >

商店街限定 LINE クーポン・スタンプカードの整備 等

### ● 横のつながりをひろげる

LINE グループ設置／気軽な飲食会開催等による商店街関係者が集まる機会の拡大 等



焼津市民限定  
LINEで使える!  
焼津市デジタル  
クーポン祭  
みんなの生活応援クーポン  
7日間!  
1/24(土)~1/30(金)  
クーポン種類 500円割引クーポン(1,000円以上のお会計で使える)  
1,000円割引クーポン(2,000円以上のお会計で使える)  
利用総数 ●500円割引クーポン1回 ●1,000円割引クーポン1回  
※各クーポン1枚ずつ計2枚使用できます。  
実施店舗 焼津市内の登録店舗  
●LINEで検索して表示するデジタルクーポンです。●クーポンは1回会計につき、1回利用できます。  
●クーポンの種類は店舗により異なります。利用可能な店舗数などは、詳細は焼津市HPでご確認ください。  
●クーポン利用期限には限りがあります。お早めにご利用ください。  
焼津市公式LINEを  
友だち登録した方が  
特典があります。  
LINE 焼津市公式LINEの  
登録はこちら▶▶▶▶▶

## STEP 3 新たな関わりをつくる

### ● 関わる人を増やし、新たな担い手を育てる

< チャレンジしたい出店者を応援する >  
短期で出店できるチャレンジショップ  
／シェアキッチン 等



< 子ども・若者を商店街が応援する >  
子どもの思い出づくりイベント／高校生の発表の場・壮行会／若者と  
一緒に花壇管理 等

< イベントをきっかけとした関わりづくり >  
イベント運営やボランティア活動のポイント付与制度（子ども向け）  
等

#### 事例

#### 広島県福山市 地域ポイント制度（まちづくりパスポート事業）

広島県福山市では、ボランティア活動や地域の清掃活動等まちづくりパスポート事業の対象活動に参加すると、「まちポイント」がもらえ、貯まったポイントはさまざまな特典と交換することができます。

対象活動などへの参加を通じて、地域や市政に対する関心を高めることを目的としています。



出典：p.29, No.9

## STEP 4 新たな組織をつくる

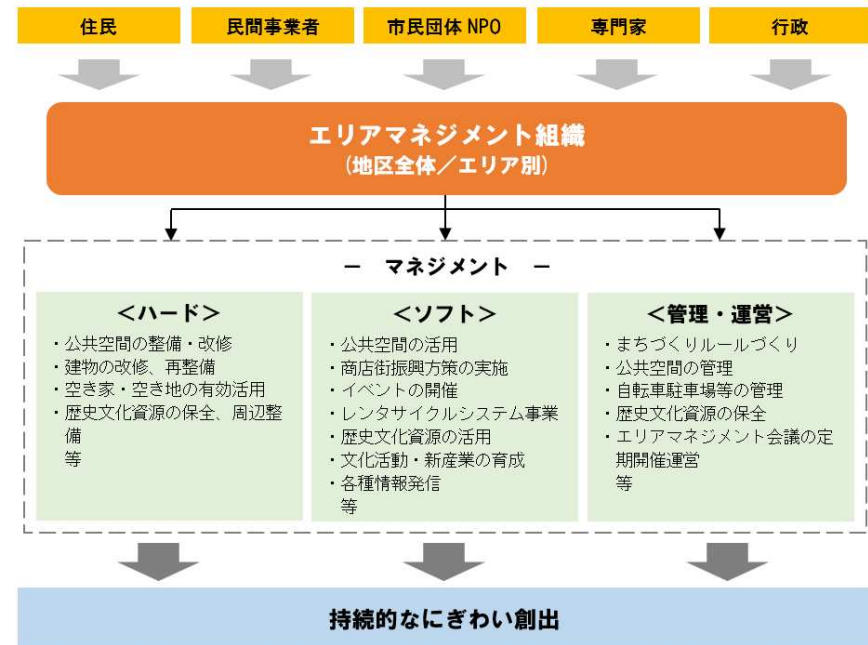
### ● エリアマネジメント組織をつくり、活動を継続する

エリアマネジメントとは、特定の地域（エリア）において、その地域の価値や環境を維持・向上させるために、住民・事業主・地権者・行政などが連携して行う取り組みのことです。

駅前通りにおいては、商店街や地権者、周辺住民、事業者、市民団体、専門家、行政等の多様な主体が加わるエリアマネジメント組織を整備し、協力・連携して活動を継続するとともに、活動領域を広げていきます。

また、将来的に都市再生推進法人の設立を目指します。

#### 《エリアマネジメント組織イメージ》



出典：焼津めぐる戦略（MEGURU）

## 付録 デザイン指針チェックリスト

このチェックリストは、駅前通り沿道の建物に関するデザイン指針を整理したものです。

建物の新築・改修・修景及び屋外広告物の設置においては、以下のチェックリストを活用してデザイン指針との整合を確認しましょう。

### ◆ 建物を建築・改修・修景するときチェックする項目

分類	チェック項目	☑
建物用途	1階部分は商業、業務等の用途である。	<input type="checkbox"/>
店舗の間口	店舗の間口は周囲の店舗と同程度である。	<input type="checkbox"/>
	大規模な建物の1階部分は、商店街のスケール感に配慮している。(水平・垂直のライン、色彩、素材の切替、凹凸による分節など)	<input type="checkbox"/>
高さ	建物の高さは周辺の街並みと調和している。	<input type="checkbox"/>
壁面位置	隣接する既存の建物と壁面ラインを揃えている。	<input type="checkbox"/>
	壁面後退部分を活用している。(ベンチやテーブルの配置、緑化等)	<input type="checkbox"/>
壁面の色彩	主な外壁色は、白や明度の高いベージュ・グレー・茶系である。	<input type="checkbox"/>
	1階部分の壁面は、周囲の景観に調和する色彩である。高彩度の色を広範囲に使用していない。	<input type="checkbox"/>
壁面デザイン	1階部分に、開口部(入口・窓)を設けている。	<input type="checkbox"/>
	(交差点や河川沿いに建つ建物の場合)周囲からの見え方に配慮して、魅力的なデザインに努めている。	<input type="checkbox"/>
	商店街の歴史や懐かしさを感じさせるレトロなデザインがある場合、店舗デザインに活かしている。	<input type="checkbox"/>
壁面素材	過度な光沢のある金属板・鏡面仕上げを避けている。	<input type="checkbox"/>
	自然の質感が得られる塗り壁やタイル、木材等を使用している。	<input type="checkbox"/>
シャッター	(シャッターを設置する場合)シャッターアートやシースルーシャッター等を採用し、適切な照明演出に努めている。	<input type="checkbox"/>
建築設備	空調室外機や電気・ガスメーター等は、通りから目立たない位置に設置している。露出する場合は目隠しを行っている。	<input type="checkbox"/>

本デザイン指針は強制力のある規制ではありませんが、できる限り配慮いただくことにより、駅前通りの魅力的な景観形成につながります。

分類	チェック項目	☑
照明	温かみのある適度な照明を設け、安全でやわらかい夜間景観を形成している。	<input type="checkbox"/>
	壁面全体を強く照らす照明は避け、歩行者の視線の高さを意識した間接照明やスポット照明を用いている。	<input type="checkbox"/>
花・みどり	店舗前に、季節感や潤いを感じられる緑化をしている。	<input type="checkbox"/>
沿道の オープンスペース	(沿道と繋がる小空間がある場合)、テラスや縁側の空間を組み合わせ、居心地の良い空間を創出している。	<input type="checkbox"/>

### ◆ 屋外広告物を設置するときチェックする項目

分類	チェック項目	☑
共通事項	自家広告物のみを掲出し、街並みと調和する大きさや数である。	<input type="checkbox"/>
	彩度の高い色彩や人の顔写真などの使用を避けている。	<input type="checkbox"/>
	通行の支障になる場所に、置き看板、のぼり旗、簡易な看板等を設置していない。	<input type="checkbox"/>
	のぼり旗を常設として多用していない。	<input type="checkbox"/>
壁面利用 ・ 窓面利用 広告物	過度な点滅・発光など、景観を阻害する表示ではない。	<input type="checkbox"/>
	切り文字・箱文字の使用に努め、必要最小限の大きさである。	<input type="checkbox"/>
	広告物でガラス面全体を覆うような表示を避けている。	<input type="checkbox"/>
	中・高層階に、広告板を掲出してない。	<input type="checkbox"/>
	交差点や河川沿いに建つ建物は、過度に広告板を掲出してない。	<input type="checkbox"/>

## 参考 画像出典一覧

- No.1 みんなでつくる、みんなのアソビバ：株式会社ナイン HP (<https://nine.sc/works/asobiba/>)
- No.2 元町 SS 会の設立：元町ショッピングストリート HP (<https://www.motomachi.or.jp/history/>)
- No.3 現在の元町通り：協同組合元町 SS 会 提供
- No.4 緑のセットバック…文盛堂書店 & chigiri：三島市 HP (<https://www.city.mishima.shizuoka.jp/page/1954.html>)
- No.5 オモケンパーク：矢橋徹建築設計事務所 HP（撮影：YASHIRO PHOTO OFFICE） (<https://yabashi-aa.com/works/omokenpark/>)
- No.6 シェアード・スペース 生成発展と変遷：名古屋都市センター（撮影：Helmuth S）  
(<https://www.nup.or.jp/nui/user/media/document/investigation/h29/nui026.pdf>)
- No.7 神門通り：土木学会景観・デザイン委員会 HP (<https://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/821>)
- No.8 ハレまち通り：岡山市 HP (<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000007350.html>)
- No.9 地域ポイント制度（まちづくりパスポート事業）：福山市 HP (<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/machidukuri-suisin/253846.html>)



# 焼津駅前通り デザインガイドライン

Yaizu Station Front Street Design Guidelines

令和7年(2025年)3月発行

焼津市都市政策部都市整備課 開発担当

焼津市本町2丁目16番32号

TEL : 054-625-7050

メール : [toshiseibi@city.yaizu.lg.jp](mailto:toshiseibi@city.yaizu.lg.jp)